

北海道ナチュラルバイオグループ

エクソソームと スキンケア新商品 プラセンタ組み合わせ

プラセンタ（胎盤）化粧品・健康食品を展開する北海道ナチュラルバイオグループ（HNB、札幌市中央区）は、新たな主力商品を育成する。1月に韓国の原料メーカーであるエクソバイオ（ソウル市）と、ヒト脂肪幹細胞培養液から不純物を取り除き精製したエクソソーム（細胞外小胞）の国内における独占販売権契約を締結。独自製法によるプラセンタエキスと掛け合わせると、高い美肌効果が期待できることが分かった。研究成果は美容液などに応用し、HNBのスキンケア製品では初めて、全国の一般流通で販売していく。

高い美肌効果期待



夏頃に発売予定の美容液（写真は試作品）、HNBの最高級品として育成に力を注ぐ

ではとみている。成果はまず、6〜7月をめどに全国のテレビ通販で発売するエイジングケア美容液（30リットル、1

万8000円程度で販売予定）に応用する。塗布時にはさらっとしていなから、塗布後には肌もっちりするような使用感触にもこだわった。現時点では30代以上をターゲットに据えるが、市場の反応をみながら、2020年度（同年4月〜21年3月）にかけてニースのありそうな剤型を4〜5品追加、同社の最高級ラインとして立ち上げる考えた。

プラセンタエキスとエクソソームの相乗効果にはドラッグストアも興味を示しており、共同企画品を展開できないかとの提案を受けているという。早ければ、20年秋にも美容液やフェイスマスクなどのかたちで市場に投入。複数の流通で商品を取り扱うことで、独自素材に強みを持つメーカーとして存在感の発揮を目指す。

（藤本わか）

プラセンタとエクソソームには線維芽細胞や免疫に働きかけ、肌のアンチエイジングが期待できるといふ共通点がある。両社はそれぞれの素材で「肌の再生」に挑んでおり、互いの紹介を受けたことから、エクソバイオが北海道ナチュラルバイ

オグループにエクソソームの提供を昨秋開始した。HNBでプラセンタエキスとの相乗効果などを研究するようになった。研究では、エクソソームとプラセンタエキスを配合した試作品を作製。50〜60人の女性に1

カ月間使ってもらったところ、「ハリが出た」や「化粧ノリが良くなった」との声が寄せられた。今後は、肌はどういった変化として表れているのかなどの測定（数値化）を進めていく。HNBはこの相乗効果について、プラセンタエ

キスはたんぱく質やアミノ酸などを豊富に含むものの、皮膚に浸透して機能を発揮するまでに時間がかかることに着目。エクソソームはプラセンタエキスより浸透が速く、ほかの成分の浸透を誘導する可能性があるため、即効性などにつながるの

化学工業日報

2020年（令和2年）

2月5日 水曜日

第24230号（日刊、土・日・祝日除く）